

「ブラームス／濃密な五重奏の世界」

演奏とお話し「Va.磯村和英／東京クワルテットとともに45年」

■演奏の部 2019年第8回秋吉台音楽コンクール優勝の若きクワルテット・インテグラが2019年ドイツ
デトモルト・ブラームスピアノコンクール優勝の石井楓子と東京クワルテット(1963～2013)
のヴィオラ磯村和英と追い求める「ブラームス／濃密な五重奏の世界」

- ブラームス / ピアノ五重奏曲 へ短調 Op.34 45min
- ブラームス / 弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 Op.111 30min

・2019 第8回 秋吉台音楽コンクール 弦楽四重奏部門 第1位 クワルテット・インテグラ

Vn. 1st 三澤 響果 (桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了)
Vn. 2nd 菊野 凜太郎 (桐朋学園大学ヴァイオリン科卒業)
Va. 山本 一輝 (桐朋学園大学ヴィオラ科卒業)
Vc. 築地 杏里 (桐朋学園大学チェロ科卒業)

・2019 第2回 デトモルト=ブラームスピアノコンクール1位 *Brahms-Klavierwettbewerbs Detmold 1st Prize*

P. 石井楓子 (桐朋学園大学研究科修了 2013年音コン1位)
特別共演 Va. 磯村和英 (桐朋学園大学特任教授)

■お話しの部 「東京クワルテットとともに45年」 60min

お話し 磯村 和英
解説・司会 西原 稔 (JBS顧問 桐朋学園大学教授)



クワルテット・インテグラ



P. 石井楓子



Va. 磯村和英



解説・司会 西原 稔

日時 2021年7月11日(日) 2pm

会場 ヤマハ銀座店 6F サロン 定員50% 入場47名

チケット 一般¥5500 会員優先 会員¥5000 学生会員¥3000

後援 ハンブルク国際ブラームス協会、 アメリカブラームス協会(ABS)
共催 (株)ヤマハミュージッククリエティング銀座店 (お問合せ先/JBS)
主催 日本ブラームス協会 (JBS) <http://japan-brahms-society.org>
入場 3/28 コロナ状況より 定員94名の50% 47席を販売いたします。
チケット 新型コロナ状況によって開催中止となる場合はご返金となります。
一般券(会員優先) ヤマハ銀座店5Fピアノ売場 Tel 03-3572-3132
お問合せ 会員券、学生券の販売 日本ブラームス協会 事務局 (JBS)
留守Tel/Fax 050-3648-0002 eメール [jbs1973\(a\)jcom.home.ne.jp](mailto:jbs1973(a)jcom.home.ne.jp)



●Quartet クアルテット・インテグラ

2015年4月桐朋学園大学および桐朋学園女子高等学校音楽科に在学中の学生により結成。「インテグラ」とはイタリア語で統合や誠実さを意味する。一体性を持った演奏や音楽に向き合う姿勢を評価され、元東京クワルテットのヴィオラ奏者、磯村和英氏によって名付けられた。第8回秋吉台音楽コンクール 弦楽四重奏部門 第1位。併せて、ベートーヴェン賞、山口県知事賞を受賞。17年、元アルバン・ベルク四重奏団の1st ヴァイオリン奏者、ギンター・ピヒラー氏に招待され、キジアーナ音楽院夏期マスタークラスに全額スカラシップを得て参加。イタリア各地のコンサートにて好評を博す。山崎伸子プロデュース輝く若手演奏家による「未来に繋ぐ室内楽」Vol.1に出演し、山崎伸子氏と共演する。18年~20年、とやま室内楽フェスティバルに参加し、富山県内ホールや美術館などへのアウトリーチ公演を行い、練木繁夫氏と共演する。19年、堤剛プロデュース「弦楽器の響」に出演し、堤剛氏と共演する。16~19年、桐朋学園大学の成績優秀者による室内楽演奏会に出演。20年、元東京クワルテットのチェロ奏者、クライブ・グリーンズミス氏にキジアーナ音楽院夏期マスタークラスにて師事し、最も優秀な弦楽四重奏団に贈られる”Banca Monte dei Paschi di Siena” Prizeを受賞。21年、第41回霧島国際音楽祭に出演し、堤剛音楽監督賞及び霧島国際音楽祭賞を受賞。プロジェクトQ第14章、第17章、第18章に参加。その他、全国各地にて演奏を行う。NHK Eテレ「ららら♪クラシック」に出演。サントリーホール室内楽アカデミー第5,6期フェロー。磯村和英、山崎伸子、原田幸一郎、池田菊衛、花田和加子、堤剛、毛利伯郎、練木繁夫各氏に師事。(公財)松尾学術振興財団より第29回助成を受ける。<https://vcofficialsite.wixsite.com/quartetintegra>



Vn. 三澤響果 Vn. 菊野凜太郎



Va. 山本一輝 Vc. 築地杏里

●Piano ピアノ 石井楓子(いしい ふうこ)

桐朋学園大学卒、同研究科修了。2013年 第82回 日本音楽コンクール第1位。2015年より渡欧し、ケルン音楽大学を経てバーゼル音楽院修士課程修了。2019年 第26回ブラームス国際コンクール第3位入賞。また第2回ドイツ・ブラームスコンクール優勝。SFK Euro Symphony, デトモルト劇場オーケストとブラームスの2番の協奏曲を共演。またスイスのJemanuel & Eva Maria シェンク財団のソリストコンクールで受賞、アルゴフィアフィルハーモニー交響楽団とベートーヴェンの協奏曲第1番を演奏した。2014年のN響をはじめ、読響、東響、東フィル、日フィル、神奈川フィル、群響、セントラル愛知、ブラショフ・フィル、ヤナーチェク・フィルなど国内外のオーケストラと共演。2018年 文化庁新進芸術家派遣制度より奨学金給付を受ける。これまで、室内楽を東京カルテット、三上桂子、藤原浜雄、堤剛、Anthony Spiriの各氏、ハンマークラヴィアをEduardo Torbeanelli氏、歌曲伴奏Christoph Pregardien, Jan Schultszの各氏、ピアノを江崎光世、加藤伸佳、横山幸雄、村上弦一郎、Claudio Martinez-Mehnerの各氏に師事。ドイツものを中心にドイツ、スイス、フランスなど、各地での演奏活動に取り組んでいる。今年度はバーゼル交響楽団、デトモルト室内管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演の他、ドイツのブリュートナーサロンでのリサイタルシリーズなどを予定している。ブリュートナーとErich-Thienhaus Institutによるブラームス作品のCDを発売。バーゼル在住。ブラームス協会は7年ぶりの出演。



●Viola ヴィオラ 磯村和英 (いそむら かずひで) 特別ゲスト

桐朋学園でヴァイオリンを小林健次、室内楽を齋藤秀雄各氏に学び、1968年よりジュリアード音楽院に於いてヴァイオリンをイヴァン・ガラミアン、ヴィオラをウォルター・トランブラー、室内楽をジュリアードカルテットに学ぶ。69年の秋に東京クワルテットを結成。翌70年、ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門で一位を受賞。以後、クワルテットと共に45年にわたり、ニューヨークを拠点に世界各地で演奏活動を続けた。室内楽の指導には長年積極的に取り組み、イエール大学で教鞭をとる他、アメリカ、ヨーロッパ、日本で数多くの室内楽講座を行う。東京クワルテットがレコーディングしたレパートリーは幅広く、スイスのモンルーレコード大賞、イギリスのグラモフォン年間最優秀室内楽賞など数多くの受賞を重ね、グラミー賞には7回ノミネートされた。また個人としては、ヴィオラソロとソナタのCDをリリースしている。現在、桐朋学園大学特任教授、サントリーホール室内楽アカデミーのファカルティを勤め、マンハッタン音楽院で室内楽とヴィオラの指導も行う。2013年には外務大臣表彰、14年にアメリカ・ヴィオラ協会よりキャリア・アチーブメント賞を授かる。

●解説 西原 稔 (にしはら みのる) JBS顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学名誉教授。同大学特別招聘教授。18,19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。著書に「音楽史ほんとうの話」「作曲家◎人と作品 ブラームス」「新編 音楽家の社会史」「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下巻(第26回ミュージック・ペンクラブ賞受賞)、2020年に「ドイツツレクイエム」への道(以上 音楽之友社)のほか「新版 クラシックでわかる世界史」「ピアノ大陸ヨーロッパ」「ピアノの誕生」「クラシック 名曲を生んだ恋物語」「楽聖ベートーヴェンの誕生」「世界史でたどる名作オペラ」「ピアノの誕生・増補版」、また共著・共訳書に「ルル」「金色のソナタ」「西洋の音楽と社会⑦ロマン主義と革命の時代」「オックスフォードオペラ大事典」などがある。日本ブラームス協会(JBS)では2002年10月1日より顧問として企画運営のアドバイスを共にブラームス研究成果を「レクチャーコンサート」、年会誌『赤いほりねずみ』にて発表している。